

1. 交付金事業の名称            原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体      岩手県
3. 交付金事業の実施場所      岩手県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ BWR 燃料集合体模型、原子炉組立キット等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。
- ・ ワイヤレスセンサ、電気の利用・自動車・スマートハウスセット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

- ・ バイオマス発電、風力発電、地熱発電、小水力発電等を見学し、発電・エネルギーの学習に活用した。
- ・ 原子力災害伝承館、東京電力廃炉資料館、福島第一原子力発電所等を見学し、放射線、発電・エネルギーの学習に活用した。

(3) 講演会の実施

有識者による講演会を実施し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(4) 教員研修の実施

教員を対象とした研修を実施し、放射線、発電・エネルギーの授業に役立てた。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費    7, 3 4 2, 5 4 4 円

交付金充当額        7, 3 4 2, 5 4 4 円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・ 当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、目標 8 5 % に対して実績 8 2 % であった。実験器具・実験材料の整備による効果的な実験のほか、施設見学や講演会を実施したことにより、原子力やエネルギーに関する興味・関心が高まり、児童・生徒の理解が促進されたと評価できる。
- ・ 原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、目標 9 5 % に対して実績 9 0 % であった。各事業を適正に実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育への環境整備が促進されたと評価できる。